

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して

NA・GO・MI

和み

2007.07 第8号

前野かずみ県政レポート

発行 平成19年7月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



津市中村町 山腹崩壊現場

ごあいさつ

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

私も、皆様方のご支援・ご協力のおかげをもちまして、三重県政に2期目の県会議員としての席をいただくことが出来ました。皆様方から頂いたご支援・ご協力・ご厚情に応えるべく地元津市を始め三重県民のために今後とも粉骨砕身努力してまいります。

また一方では、自由民主党三重県支部連合会役員の改選があり、このたび組織委員長という重責を任されることとなりました。三重県の活況は全国的にみても現在上位5本の指に入っております。その活況を維持するだけでなく、さらに上昇気流に乗せるべく、自由民主党三重県支部連合会の組織委員長として、大いに活動してまいりたいと考えます。

今後とも皆様方がたの一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



前野かずみ

議会・議員活動

津南警察署移転問題



津南警察署



県久居庁舎

前野かずみは、予算決算委員会において自民無所属党派の代表として、総括質疑に立ちました。

県久居庁舎に津南警察署が移転をする調査設計費が補正予算に計上された。久居県庁舎には現在でも津建設部の土木部門や健康福祉部の心の健康センター及び農林支援センターが業務を行っているにもかかわらず、津南警察署の予算化は、地元県民への十分な説明がなされないまま唐突として行われた。県民の共有の財産である久居庁舎が有意義に使用されることを願い、地元説明を十分に行い理解を得たいと予算執行をするよう、付帯決議を付けました。

6月補正予算可決

知事選挙の為19年度当初予算は骨格予算として編成されていました。6月議会では肉付け予算として補正予算が組み、一般会計補正額は202億1,078万5千円増額され6,892億5,037万9千円となりました。



健康福祉・病院常任委員会副委員長として審議に参加 (委員7名)

平成16年に策定された、県議会提出条例「子供を虐待から守る条例」の制作にかかわった前野かずみは、児童虐待に対して様々な取り組みをしている県に対し実態についていただきました。子供が一番頼りにする親からの虐待が大多数を占めています。子供にとってこれほど惨めで悲惨な状況はありません、虐待の事実の早期発見が非常に重要であります。

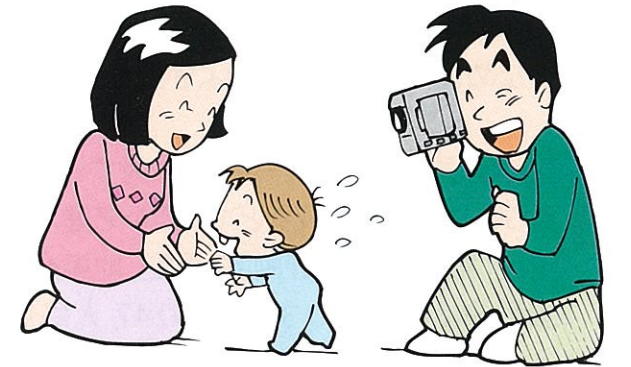
虐待が主に家庭内において行われることから、行政も含め外部関係者が気付くことが遅れ、手遅れになる悲惨な事案がたくさんあります。

虐待の早期発見は、虐待らしき状況に気づいた近隣住民等からの通報が重要であります。

虐待らしき事案を発見したら直ちに関係機関に通告いただける様、さらなる啓発を行うよう要望いたしました。

子育て支援対策調査特別委員会副委員長として審議に参加 (委員12名)

少子化時代を迎えているといわれていますが、子供を産み育てる環境を社会全体で構築していかなければならないといわれています。委員会では19年度中にその提言をまとめ、県に対して新たな施策を示し、子育て支援に積極的にかかわっていく方向が定められ、委員協議が行われました。



災害対策活動

津市中村町で地震による山腹亀裂対策について

県会議員として、また地元消防団員として早急に打てる対策は何かを協議し行動します。



自民党災害対策本部で現地調査、県・国に対し早急な対策要望を陳情、復旧対策の成果が表れて来ている。

1億円が予算化されました。

陳情・要望対策活動

安濃町 河川改修地元陳情活動

安濃町美濃屋川の護岸老朽化のため、県に対して河川改修の要望陳情を実施いたしました。安全・安心のためには努力は惜しみません。



大里野田地区、一身田三宅線と交差する農道を改修するため、地元要望により現地調査を実施する

事故防止の為に、早急に現場を確認し、今後の対応に関係者の方と打ち合わせする。安全・安心が第一優先です。



県政報告軒下ミニ集会

当選後初めて、津市内30か所で県政報告軒下ミニ集会を実施し、二期目の県政報告と今後の活動についてお話をいただきました。また、それぞれの地域の持つ問題点、ご要望など膝を交えての話し合いは、今後の前野かずみの原動力となる大変貴重な会となりました。ご参加いただいた皆様には改めてお礼を申し上げます。



自民党三重県連組織委員長に就任おめでとうございます。当選後、津市管内の県民の陳情や要望に積極的に応え対応している姿に感銘しています。初心忘れることなくご活躍いただきますようお願いしています。

津市庄田町
吉田 誠宏さん

三重県議会六月定例議会における一般質問

Q 《農業政策》平成19年度から実施される品目横断的経営安定対策の進捗状況は

A 本年度の実施に向け、県や関係機関で構成する推進本部の設置や制度説明会、対象となる担い手の基本台帳整備などを進めている。この結果、加入は現在、認定農家で約430人、集落営農で約90組織。目標は認定農家で約500人、集落営農で約110組織、大豆の面積は前年並みとする。今後は加入を働きかけるほか、農政改革推進に必要な地域の集落営農の確立を進める。

Q 《食育》ファーストフードが氾濫し四季の味覚が忘れられています、健康で心豊かな生活を送るためには、地産地消のよき食材を思い出し食生活を改善するための食育のあるべき姿は

A 生活スタイルの提案や「食」に対する意識の醸成が重要。恵まれた食文化を県民に再発見してもらい、家庭や学校などで、豊かで健全な食生活の実践を定着させるのが食育の役割。県は昨年度「県食育推進計画」を策定、地場産品の活用や地域食材の理解促進などを図る。学校の栄養教諭は昨年度の36人増の47人に充実させた。

Q 《観光振興》中勢地域の新しい施策が見当たらない、新津市には、素晴らしい観光資源がある、空の玄関とつながる「なぎさまち」や高田本山専修寺・榊原温泉さらには名松線や北畠神社を核として観光ルート化すれば中勢地域(津市)活性化に期待が膨らむ県の観光施策を示せ。

A 寺では大恩会(平成20年)20万人、御影堂落慶法要(平成22年)20万人、親鸞聖人750回忌(平成24年)20万人や全国から参拝者60-70万人を見込む「などの行事が控える。関係団体は、見る・食べる・体験するの「町あるきルートづくり」や庭園の公開などについて五月から協議は始めたところ。また榊原温泉などと組み合わせた旅行商品づくりにも取り組む。



前野かずみ事務所



県政なんでも
相談室として
事務所を開設
しています。
お気軽に
お立ち寄り下さい。

津市久居北口町438-31
Tel 059-254-6605
Fax 059-254-6606